

# V カ ッ ト 処 理 施 工 手 順

## ■ 施工方法

### 1 クラック施工前

施工前の状態



### 2 グラインダーでVカット

ひび割れに沿ってVカットしていきます。



### 3 樹脂系補修材処理

ワイヤブラシ、ブロウ等で完全に埃を取り除き樹脂プライマーを塗布する。樹脂モルタルを空気が入らないように周りより1mm程高く充填します。



### 4 表面処理

2時間程経ち完全に硬化したのを確認します。硬化したら#36の砥石で周囲とフラットになるように研磨します。



### 5 補修材処理

清掃後、セメント用プライマーを塗布しリペレジを塗ります。細かな凹みを埋めるイメージです。



### 6 スクレーパー処理

リペレジが半乾きになると、スクレーパーで余分な材料を削り落とします。削り残し等が無いようにペーパーで擦りましょう。



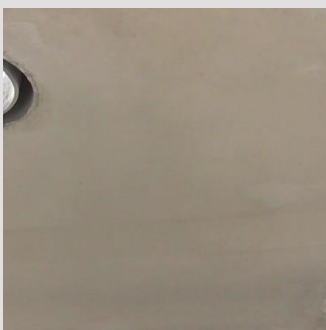
### 7 ライニング材処理

セメント用プライマーを塗りその上からCリペカラーを塗ります。完全に乾燥させた後周囲との境界線をスクレーパー、#600ペーパーでなじませましょう。



### 8 吹き付け処理

最初はCリペカラーを少し吹付け、色を確認し乾燥させながら少しずつ吹き足していきます。周囲との違和感なく下地が消えるとOKです。



### 9 模様付け

始めに#600ペーパーで表面をなじませます。シミや模様をつけて周囲との違和感がなくなれば完成です。



## 準備する物

- 練り用金コテ
- 塗り用金コテ
- ボウル
- スクレーパー
- 耐水ペーパー#600
- ワイヤブラシ
- 小バケツ
- 刷毛
- ウエス
- ワグナー
- コンプレッサー
- エアホース
- エアガン
- 模様付けパット
- ガストーチ
- ブロワー
- グライNDER
- 砥石#16・#80
- Vカットダイヤ

## 準備する材料

- リペレジ
- Cリペライニング
- Cリペカラー
- トーンカラー
- セメント用プライマー（ロイヤルW21を水で20倍程度希釈したもの等）
- 樹脂系補修材（アルプロンHMなど）
- 樹脂用プライマー（アルプロンW-301など）

## ■ 施工の注意点

- リペレジシリーズはプレミックスタイプの補修材です。水だけで練って下さい。強度を増すために接着剤等を混入した場合、硬化時間・色が設定と異なる場合がありますのでご注意下さい。
- 水で練り混ぜた物は残さず全部使用して下さい。**硬化が始まってからの再加水・練り返しはしないで下さい。**クラック・接着不良の原因となります。
- セメント系ですので、風化・吸湿性があります。保存には充分注意しなるべく早めにご使用下さい。（5kg内袋は、保存性を良くするためヒートシールしてあります。さらに、輪ゴムが袋に入っていますので、使い残した物の封にご利用下さい。）
- 補修の際は下地の余分な凹凸は予めハンマー・チス・スクレーパー等で取り除き、掃除をして下さい。離型剤が表面に残っている場合は特に剥がれ易くなります。ブラシ等で補修面を擦り、水湿すると効果的です。
- スクレーパーや金コテで手を切る恐れがありますので扱いにご注意ください。
- Cリペライニング、Cリペカラー等に記載されている**注意書きを必ずお読みください。**
- Cリペカラーに混和液を混入後は、24時間以内に使い切ってください。
- 吹付けする際、付着すると困るような箇所には予め養生してください。万が一付着したら水で濡らしたウエスで拭き取ってください。
- Cリペカラーは使用する際、しっかりと混ぜてご使用ください。混ざりきっていないとムラができる場合がございます。
- Cリペカラーは**少しずつ薄く吹き重ねるように**吹付けてください。一度に厚く吹きますと水滴が垂れてしまい仕上がりが悪くなってしまいます。『吹付け→乾燥→吹付け→乾燥…』と下地が見えなくなるまで繰り返してください。
- 模様付けは規則的に叩くと違和感がでてしまうので周囲の模様を参考に自然な風合いに一定になるよう軽く叩いてください。